



日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会

特非法人 日本防火技術者協会 平成30年度定時総会 開催予告

日時：平成30年2月1日(木)
13:30~14:30

場所：東京理科大学 森戸記念館
第1フォーラム(地下1階)

議題内容：

- 1) 平成29年度(2017年度)事業報告の承認
- 2) 平成30年度(2018年度)活動計画の承認
- 3) 平成29年度会計報告・平成30年度予算の承認
- 4) 定款の改正(改正NPO法に伴う定款改正の承認)
- 5) その他(SFPE日本支部の事業報告・活動計画の報告、2017年度JAFPE防火技術者認定者の報告)

総会成立には過半の会員の出席が必要です。ぜひ御出席ください。出席できない正会員は、書面もしくは電磁的方法による表決、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができます。

総会に引き続き、下記のシンポジウムが開催されますのでぜひご出席ください。

シンポジウム「大規模物流倉庫の 火災の課題と防火安全対策」(仮題) 開催予告

日時：平成30年2月1日(木)
15:00~17:00

場所：東京理科大学 森戸記念館
第1フォーラム(地下1階)

講演者：

- ・東京理科大学 教授 小林恭一
- ・入間東部地区消防組合 長谷川信之

パネリスト：

講演者に加え

- ・入間東部地区消防組合 坂寄節夫
- ・日建設計 福井 潔
- (司会進行) 当会 堀田博文

参加費：無料

資料代：会員無料 会員外 1000円

JAFPE防火技術者認定者は、総会の出席(4ポイント)及びシンポジウムの出席(特別講習会として6ポイント)でCPDのポイントが獲得できます。ぜひ、総会およびシンポジウムにご出席ください。

JAFPE セミナー「工場等産業施設における防災のためのリスク軽減手法と爆発災害の原理」(仮題) 開催予告

日時：平成30年3月27日(火)
15:00~18:00

場所：東京理科大学 森戸記念館
講演者：内藤延彦(FM Global)

産業施設の防火安全対策について、建築基準法、消防法、高圧ガス保安法、労働安全衛生法など、日本の法律の枠組みにとらわれて縦割りで考えがちな日本の防火技術者にとって、防火安全対策を火災科学の視点から横割りで総合的に考える思考方法を知る良い機会です。

JAFPE防火技術者認定者は、特別講習会として6ポイントのCPDのポイントが獲得できます。

高齢者避難WG報告

主たる活動メンバーは佐藤(主査)、笠原、栗岡、建部、大西、小林(恭)、堀田、山村、村井である。また神戸大学の学生も適宜参加している。

WGは3回(9/11、11/13、12/11)建築会館にて開催(日本建築学会「小規模な高齢者社会福祉施設の避難安全性向上WG委員会」の後、打ち合わせを行っている)。

8月31~9月3日に広島工大キャンパスにて開催された日本建築学会大会に最近の研究結果を2編発表、広島の高齢者福祉施設を視察。

11月14日、東京都社会福祉協議会の後援を受けた第7回防火研修会(通算第17回)を開催し45名の参加を得た。内容は、本WGの活動概要としての夜間避難を上手くいかせるための戦略について(小林恭)、防火避難訓練時の注意点(山村)、火災図上演習(FIG)の方法(富松)を事前に講演し、その後6チームに分かれてFIGを体験して頂いた。



写真：第7回防火研修会 FIG の発表状況

国際対応活動報告

このたび2019年期のSFPEプレジデントに選出されたブライアン・ミーチャム氏(米国ウースター工科大学)を東京理科大学に迎え、11月27日、ロンドン高層住宅火災に関する意見交換会を開催した。

ミーチャム氏は以前より建築・防火の性能規定動向を調査中で、6月の英国の悲劇を踏まえ、各国の規制がどのように変化しつつあるかに着目しておられる。

当会からは国際担当の関澤理事より、国際火災学会シンポに参加当日の火災への欧州からのNHK取材、その後の情報収集、分析の経緯が紹介された。

その後、国内外の情勢について全員で情報交換し、さらにミーチャム氏から依頼を受けたアンケートに対して、自由に私見を回答することとした。当会の参加者は関澤(担当)、上原、笠原、小林(裕)、福井、堀田の6名であった。

職能WG、防火技術者のあり方検討委員会活動報告

8月以降、職能WGは防火技術者のありかた委員会に移行した。

メンバーはオブザーバーを含み、栗岡(主査)、田中、笠原、富松、堀田、角谷、中島、小林、福井、鈴木、西村、内藤、赤津、原田、宇山である。また、随時、関係者の参加も得て開催している。

3回(8/1、9/25、12/6)のWGを開催し、グローバル化の中での日本の防火技術者とその教育制度のあり方を検討した。東京理科大学にて開催した。

第5回目のJAFPE防火技術者として11月30日応募を締め切り、12月14日に認定委員会(委員長：田中、委員：矢代・小林・笠原・富松、事務局：堀田・栗岡で構成)を開催し、応募者の中からJAFPE防火技術者を選出するとともにCPD制度の充実を行った。

エレベーター(ELV)避難検討WG活動報告

活動メンバーは、山田(茂)(主査)以下、全14名(オブザーバーを含む)である。今年度はWGを5回開催した(4/11、5/31、8/9、10/2、11/28)。

主な検討事項として、東京消防庁管内の避難誘導用ELVや他の地域の火災時のELV利用計画に関する現状調査、共同住宅を対象としたELV避難の検討に向けた予備的検討(過去の火災の統計データ分析や事例調査、ロンドン高層共同住宅火災の情報収集、等)を実施した。



ケーススタディ WG 活動報告

10/12、12/20 に WG を開催した。ケーススタディ成果は、2018/4/23-24 にハワイ・オアフ島で開催される SFPE の第 12 回性能規定と火災安全設計手法に関する国際会議にて発表する予定である。

日台火災リスクワークショップ

2017/11/22 に、火災リスク安全設計研究会主催、当協会が協賛した第 2 回日本・台湾火災リスクワークショップが東京理科大学の森戸記念館で開催された。

日本から3名、台湾から2名の講演が行われ、参加者は20名であった。講演者と講演名は以下のとおりである。

- 1) Takeyoshi Tanaka: Example of Risk-Based Selection Method for Design Fires and Fire Scenarios in Evacuation Safety Design of Buildings
- 2) Tzu-Sheng Shen (Central Police Univ.): Risk Analysis of Untenable Conditions during Fire Egress in Building Fire
- 3) Kou-Hsiung Pan (Central Police Univ.): Risk Analysis in Fire Scenarios at Elderly Facilities in Taiwan
- 4) Tensei Mizukami. (NIUM, Japan): Example of Risk-Based Setting of Design Fire Load Density for Structural Fire Safety Design of Buildings
- 5) Keisuke Himoto (NIUM, Japan): Risk-based Assessment of Fire-spread Resistance Performance of a Building in the Fire Protection Zones

なお、第1回は2015/10/9に開催された。

理事会等の開催結果

理事会を以下の日に実施した。
8/28(月)、10/3(火)、12/11(月)、1/17(水)

会員情報

会 員 155名
 賛助会員 7名
 学生会員 1名
 新入会員

大和 征良〔日本ヒルティ(株)〕
 河合 邦治〔(国研)建築研究所〕
 染谷 朝幸〔(株)日建設計〕
 山本 隼人〔Arup〕
 若林 寿一〔関西建築防災研究所〕

敬称は省略させていただきます
(2018年1月現在)



SFPE 日本支部 2018年度定時総会 開催予告

日時：平成30年2月1日(木)
13:30~14:30

場所：東京理科大学 森戸記念館

議題内容

- 1) 2017 年度事業報告
- 2) 2018 年度活動計画
- 3) その他

Fire Technology

Vol.53, Issue 5, September 2017

■ An Unbiased Method for Probabilistic Fire Safety Engineering, Requiring a Limited Number of Model Evaluations : Ruben Van Coile, Georgios P. Balomenos, Mahesh D. Pandey, Robby Caspeeel, pp.1705-1744

■ Experimental Influence of Pedestrian Load on Individual and Group Evacuation Speed in Staircases: Junmin Chen, Rong Liu, Jianyu Wang, Yanqiu Chen, pp. 1745-1763

■ Numerical Investigation of Back-Layering Length and Critical Velocity in Curved Subway Tunnels with Different Turning Radius : Shaogang Zhang, Hui Yang, Yongzheng Yao, Kai Zhu, Yong Zhou, Long Shi, pp.1765-1793

■ Examination of WFDS in Modeling Spreading Fires in a Furniture Calorimeter: Y. Perez-Ramirez, W. E. Mell, P. A. Santoni, J. B. Tramoni, F. Bosseur, pp. 1795-1832

■ Innovative Design of Fire Doors: Computational Modeling and Experimental Validation: Luciano Moro, Paolo Boscaroli, Francesco De Bona, Alessandro Gasparetto, pp.1833-1846

■ SMART Sprinkler Protection for Highly Challenging Fires—Part 1: System Design

and Function Evaluation: Yibing Xin, Kyle Burchesky, Jaap de Vries, Harold Magistrale, pp.1847-1884

■ SMART Sprinkler Protection for Highly Challenging Fires—Part 2: Full-Scale Fire Tests in Rack Storage: Yibing Xin, Kyle Burchesky, Jaap de Vries, Harold Magistrale, pp.1885-1906

■ Firefighter Nozzle Reaction: Selena K. Chin, Grunde Jomaas, Peter B. Sunderland, pp.1907-1917

■ Electric Arc Holes in Corrugated Stainless Steel Tubing: Richard H. Taylor, Harold R. Larson, Thomas W. Eagar, pp. 1919-1932

■ Computational Analysis of Fire Dynamics Inside a Wind Turbine : B. Rengel, E. Pastor, D. Hermida, E. Gómez, L. Molinelli, E. Planas, pp.1933-1942

Fire Technology

Vol.54, Issue 6, November 2017

■ Deep Belief Network For Smoke Detection : Arun Singh Pundir, Balasubramanian Raman, pp.1943-1960

■ Evidential Sensor Fusion of Long-Wavelength Infrared Stereo Vision and 3D-LIDAR for Ranging in Fire Environments : Joseph W. Starr, B. Y. Lattimer, pp.1961-1983

■ Smoke Movement in a Sloping Subway Tunnel Under Longitudinal Ventilation with Blockage: Kai Zhu, Long Shi, Yongzheng Yao, Shaogang Zhang, Hui Yang, pp. 1985-2006

■ Egress Efficacy of Persons with Multiple Sclerosis During Simulated Evacuations: Richard M. Kesler, Alexandra E. Klieger, Morgan K. Boes, pp.2007-2021

■ Characterization of Emissions from Liquid Fuel and Propane Open Burns : Johanna Aurell, David Hubble, Brian K. Gullett, Amara Holder, pp.2023-2038

Fire Technology は隔月に発行されています。
<http://link.springer.com/journal/10694>